



ほとんどのお子さんが経験します！RSウイルス！！

RSウイルス感染症の特徴は、大人に感染しても軽い症状で済みますが、赤ちゃんに感染すると重症化してしまうことです。1歳未満の乳児の場合、インフルエンザよりも死亡数が多いというデータもあります。

またRSウイルス感染症は風邪と症状が非常に似ているので、大人は乳児にうつしてしまわないようしっかりと特徴を理解し、細心の注意を払いましょう！



【流行時期】

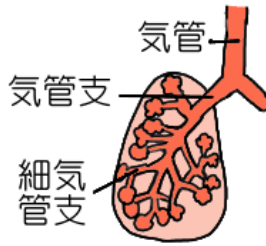
冬場に流行する感染症です。通常は秋から増加し12月頃にピークを迎えます。年明け頃から徐々に減少し、3月頃に落ち着きます。ここ数年は早くから感染者が増加する傾向にあり、9月頃から患者が増えてくることとがあり、そのまま冬まで流行が続くこともあります。

【主な症状】

軽い「鼻かぜ」程度ですむ場合から細気管支炎*や肺炎に至るまで症状は様々です。年齢が上がるほど症状は軽くなる傾向があります。発熱はするものの、39度以上の高熱を伴うことは多くはありません。

初めてかかった場合には、25〜40%の乳幼児で細気管支炎や肺炎の徴候があらわれます。ほとんどの場合、1〜2週間で徐々に回復しますが、重症例では、呼吸困難などのために入院が必要となる場合もあります。幼児期に再感染がよく見られますが、多くは軽症で済むため、RSウイルスだと気が付かないことが多々あります。

*細気管支の炎症。息を吐く時に、ゼーゼー、ヒューヒューという呼吸音がするのが特徴です。



【原因ウイルス】

RSウイルス感染症は「RSウイルス」というウイルスによって引き起こされる乳幼児の代表的な呼吸器疾患です。生後1歳までにほぼ半数の子どもが感染し、2〜3歳までにほぼ全ての子どもが経験します。RSウイルス感染症は、家族内でも高い率で感染する

ことが明らかとなっており、大人になっても再感染を繰り返します。潜伏期間は4〜6日です。ウイルス排泄期間は7〜21日と長いので、感染が広がりやすいです。

【感染経路】

唾液や鼻水が付着したおもちゃ、これらに触れた手指を介して感染する接触感染と、咳やくしゃみによって発生する飛沫を介した飛沫感染によって感染します。



【予防方法】

RSウイルスは、手指や物品を介して感染するので、手洗いや物品（特に子どもがよく触れるおもちゃなど）、身の回りの消毒が基本的な予防方法です。室内を適度な温度（26〜28度）、湿度（40%以上）に保ち、こまめに換気・掃除をして清潔を保つことも重要です。

- ・流行時期や家族が感染した場合、できるだけ密接な接触は避け、こまめに手洗い・手指消毒を行いましょう。
- ・タオルや洗面器などの共有は避けましょう。

・できるだけ、患者との密接な接触は避けましょう。

- ・ドアノブや手すり、おもちゃなどは、できるだけこまめに消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム（0.02%）で消毒しましょう。



【治療法】

特効薬はありません。治療は基本的には対症療法（症状を和らげる治療）を行います。咳や発熱などの辛さを和らげてあげることや、水分補給が重要となります。

【その他】

RSウイルス感染症の場合、学校や保育園への出席停止の基準などに関する法令の定めはありません。症状、状態などをみて、良くなっていれば登校、登園が可能となります。具体的な登校、登園の日については、家庭で判断するのが難しい場合もあると思いますので、医師と相談の上で判断するといでしょう。また、保育園や幼稚園などで基準を作っているところもあると思いますので、そちらも参考にして考慮しましょう。（齋藤）

参考文献：国立感染症研究所感染症情報センター、健栄製薬㈱

ご利用満足度アンケートの結果について

当薬局での「ご利用満足度アンケート調査」にご協力いただき、誠にありがとうございます。合計717名の方から、ご回答いただきました。

今年度より「かかりつけ薬剤師について」の項目を新設しました。貴重なご意見や、感謝とお褒めの言葉もたくさん頂きました。全店舗で集計した結果をご報告致します。

★職員へのご要望 ※（内は前年比）

職員のあいさつなど

「とてもよい」 47.4%（+28ポイント）

お薬の説明

「とてもよい」 48.5%（+45ポイント）

待合室の環境について

「とてもよい」 41.1%（+17ポイント）

これまで各店舗で、待ち時間短縮や環境整備に取り組んでまいりました。患者様からも評価を頂けるようになり、職員一同励みになっております。今後も居心地のよい薬局づくりに努めてまいります。

★お薬手帳について

「役に立っている」 71.3%（+11ポイント）

「他の薬局にも見せている」

20.2%（-25ポイント）

役に立っていると回答された方は増えましたが、有効活用といった面では昨年よりポイント減少となりました。お薬手帳は患者様

の健康管理に有効です。ご活用のご意義やその方法について、今後も継続してお知らせしていきます。

★「かかりつけ薬剤師」制度について

この制度は患者様に薬剤師を指名していただくことにより、毎回同じ薬剤師がお薬や健康についての相談を担当し、専属の「お薬パートナー」を持つことができる制度です。

今回のアンケートで14.2%の方から興味がある、利用してみたいとのご意見を頂きました。「かかりつけ薬剤師」に関する相談はいつでもお受けしております。ご興味をお持ちの方は処方せんがなくともお気軽にお立ち寄り、ご相談ください。

昨年と比べ、良くなったと評価して頂いた面もありましたが、総合的評価と位置付けられる「当薬局を知人に紹介したいと思う」が1.4ポイント減の48.1%という結果となりました。この結果を真摯に受け止め、これからももっと利用しやすい薬局を職員一同目指してまいります。このほかに、各店舗に寄せられたご意見・ご要望等に関しては、店舗ごとに検討していく予定です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



いっどこで発生するかわからない自然災害。東日本大震災や大雪を経験し、食料品・飲料水の備蓄や家具の固定など、日頃から備えている方もいらっしゃるかと思います。しかしそれだけでなく、個人情報の管理や、ご自身の健康状態の把握もとても重要です。今回はお金をかけずに、少しの間で備えられる「情報の備え」について紹介します。

避難先・連絡手段を事前に決めておく
災害が発生してしばらくの間は、電話やメールが使用できなくなり、家族や知人との連絡が取れなくなる場合があります。

連絡方法は災害伝言ダイヤル（171）を利用するのがお勧めです。毎月1日と15日には、体験で利用する事ができますので、1度体験してみる事をお勧めします。



個人情報をもとめておく
意外に忘れがちな事が家を消失してしまつた場合への備えです。銀行の口座番号・医療保険、各種保険の保険会社名や証書番号・土地や建物の権利証書・運転免許証・パスポート・印鑑登録証・年金手帳などはどれも貴重な個人情報です。原本を消失してしまつと、確認に時間がかかり、必

災害への備え、できていますか？

要な時に使用できない場合があります。事前に番号を控えておく、コピーと取つて非常持ち出し袋に入れておくなどして貴重な個人情報をまとめておくといふと良いでしょう。

健康の情報をまとめておく

健康情報をまとめておくのに大変便利なのが、薬局でもらえる「お薬手帳」です。日頃から薬局でお薬手帳の記録をつけてもらうておけば、避難所での診察や、緊急で受診した初めての医療機関でも、いつものお薬と病状を把握してもらえます。また、他のお薬との飲み合わせの確認や、同じお薬が重複してしまう事を未然に防止できるなど健康上とても有用な情報源となります。

最近ではお薬手帳の機能をスマートフォンに入れられる「電子お薬手帳」も登場しています。あおば薬局・ユアラ薬局で導入している電子お薬手帳ではカメラを使った処方箋画像の送信による事前受付など、便利な機能も備えていますので、気になる方は是非窓口でお問い合わせください。



最後に

災害への備えとして「地域との支えあい」もとても重要です。病院や薬局の職員を含めた地域ぐるみの支えあいを通して、私たちあおば薬局も「あかるいまちづくり」に貢献していければと考えます。（本間）

参考文献..